

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年10月23日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年10月23日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【建屋内RO設備 監視装置用サーバの共用ディスク異常発生について】 建屋内RO設備 監視装置用サーバにおいて警報が発生。当該監視装置用サーバを使用している設備(建屋内RO設備、1~3号機CST原子炉注水設備、建屋滞留水移送設備)の運転状態に異常は無く、異常が検知された共用ディスクがシステムから正常に切り離された。	G II
2	【共用プール設備点検中における警報の発生について】 共用プールの補機冷却系(A系)温度計点検手入工事において、点検時計装回路を短絡させたことにより警報が発生。なお、使用済燃料プール冷却浄化系(A系)および補機冷却系(A系)は停止中であった。	G II